

キンクロハジロ（カモ科） 全長 40 センチ

9月13日、渡り鳥の中継地点になっている大浦沼に、次々と冬鳥がやってきた。

先発隊のコガモに続き、オナガガモ、ヒドリガモが観察されるなど、大浦沼はカモ類の楽園となりつつあります。

ところが22日、市内に大雨洪水警報が発令され、多くの河川が何か所でも増水。低地の田んぼが冠水し、アンダーパスが水没するなど大きな被害が発生してしまった。雄物川堤防近くにある凡そ10ヘクタールの採草場が、堤防の水門が閉められたことにより排水処理ができなくなり一面水浸しになった。

偶然上空を通過したカモ類は、ここが沼地や溜池のように見えたのでしょう。コガモ約50羽とキンクロハジロ30羽がのんびりと羽を休めていた。



突然現れた浅瀬の水たまりでくつろぐキンクロハジロ（中央の黒い塊）

キンクロハジロは群れになりながら、次々と水中に潜りだした。

主な餌は貝類、カニやエビなどの甲殻類、水生昆虫などの他、水草も食べると言われているが、何を探しているのでしょうか。



こんなに広い水面で、ピッタリと寄り添いながら離れることはありません。



メスのクチバシの付け根は白く、スズガモと似ています。

洪水により、突然現れた渡り鳥の中継地点。
翌日になると水も引け、あんなにいたカモ類は誰もいなくなった。



右がメス、左がオス。



先頭を行くメスを追うように並んでいる。